STARTUP CAFE Member Interview

福岡市スタートアップカフェを利用して、実際に起業された方をご紹介!!

#08 キャンプ女子 株式会社 代表 橋本 華恋さん /デザイナー 柴垣 道宏さん

Q. キャンジョについて教えて下さい

今まで女性向けのキャンプインスタグラムを運営していて、 そこからキャンジョという名前を取りました。主に事業としてい るのはキャンプ用品レンタル、キャンプ場予約、レンタカーの 代行をまるっと一緒にした『キャンシェルジュ』というサービス を行っています。また、各種アウトドアイベントではワーク ショップも手がけています。そして現在、各地方自治体で使わ れていない土地や古い施設をキャンジョプロデュースで町お こしする、といった活動も進めています。

O. 起業されたきっかけは?

完全に趣味からです。週末ごとにキャンプに行きまくってま した。その中で困ったこととか「こうしたらいいな。ああしたら いいな。」という事が色々浮かんできたんです。元々起業に興 味があって、色々調べて行く中で、福岡市には起業をサポート してくれる取り組みや施設がいくつもあり、若い起業家が沢山 いらっしゃることを知って、起業を思い立ちました。

O. 起業するにあたって一番苦労したこと

何もかも初めてだったので色々な手続きでしょうか。何度も

法務局に足を運んで、ようやく起業が実現しました。それが済 めば、後は全力でやるだけなので苦労ではないですね。

0. 起業したことでの変化

キャンプに行けなくなりました(涙)毎日キャンプに行きた いと思って始めたんですけど全然…。新しいキャンプ用品も本 当は自分が一番に試したいんですけどね。(笑)

O. スタートアップカフェの魅力について

行きやすさ、入りやすさです!まだプランが固まらないまま 相談に行ったのですが、親身になって聞いてくれて、頂いたア ドバイスは事業化への重要な情報となりました。大名小学校 の中ということもあって、とても雰囲気が良く、本当に学校に 学びにきている感じで通っていました。

Q. 起業を目指す人へのメッセージ

起業はとても大変でした。でもそれをサポートしてくれたの が、スタートアップカフェのコンシェルジュやスタッフの皆さん でした。大いに利用して沢山の情報を得、起業するといいと思 います。とても楽しいですよ。



会社情報

キャンプ女子株式会社 [設立] 2019年6月11日 [住所]福岡市中央区大名2-6-11 Fukuoka Growth next 2F [URL] https://www.camjyo.com/

個別相談DAY!!無料相談

17:00~/18:00~/19:00~ 税理士•日本政策金融公庫 18:00~/19:00~ 行政書士・司法書士・弁護士・弁理士

相談予約は、お電話か受付で 080-3940-9455

無料で弁護士等に相談できる

【オフィスをお探しの方へおすすめ】『月1回の相談会』(予約はお電話もしくは受付にて) / 保証金減額支援『とっくに保証くんNEXT』第1木曜日、17・18・19時より

福岡市スタートアップ人材マッチングセンター

START UP MATCHING

スタートアップ企業







●創業5年以内の企業・個人事業主

●一定の第二創業に取り組む企業*



採用・雇用の悩みを

発信などを行う支援メニューもあります。お気軽に下記からお問合せください。

創業から5年を超える企業等に対しても、ご登録の上、相談対応や企業情報の

*既存事業と異なる事業分野に取り組む企業などが対象です。

人材マッチングの対象となる

なお、本サービスは株式会社ドーガンが提供しております。 有料職業紹介事業許可取得 許可番号:40-2-300550

arowth neXt

080-3940-9455

福岡市中央区大名2-6-11Fukuoka Growth Next1F(旧大名小学校内) Open 10:00 - 22:00(年末年始除く)(相談最終受付は21:00まで) / Mail fukuoka@startupcafe.jp

無料Wi-Fi、電源、コピー機(有料)、セミナー付随機器利用(プロジェクター、スクリーン等)

福岡市サイト「福岡市の起業・創業応援サイト - 創業するなら福岡市!

http://sougyou.city.fukuoka.lg.jp 創業 福岡 で検索! #福岡市スタートアップカフェ

twitter > facebook



※本誌の無断転載・掲載禁止

STADTUD CAFE DRESS 2019 vol.21

起業の前に知っておきたい

個人事業主と法人って どう違うの?



スタートアップカフェメンバーインタビュー #08

キャンプ女子株式会社 / 橋本 華恋さん・柴垣 道宏さん

起業プランが決まったらまず検討!

「個人事業主」と「法人」ってどう違うの?

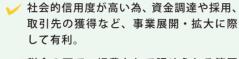
起業の準備はバッチリ。いよいよ開業手続き!

でもその前に、起業形態にはどんな種類があるの? それぞれの特徴を徹底解説します。

個人事業主



- 事務手続きが簡単。
- 初期コスト・維持コストがかからない。



税金の面で、経費として認められる範囲 が広くなっているため お得。また、最高 税率も個人事業主よりも低い。

	開業			
不要	登記	必要		
自由	開業日(設立日)	登記申請日		
なし	定款	あり		
必要	税務署・都道府県税の届出	必要		
必要	許認可事業の届出	必要		
ゼロ	コスト	右ページ参照		
会計•税務				
12月	決算期	自由に設定できる		
所得税·住民税·個人事業税·消費税	主な税目	法人税·法人住民税·法人事業税·消費税		
高い(所得税)	最高税率	低い(法人税)		
青色事業専従者に限定	同居親族への給与	制限なし		
なし	事業主への給与・給与所得控除	あり		
煩雑	事業の引き継ぎ	容易		
あり	青色申告特別控除	なし		
任意加入(従業員5人以上は要加入)※事業主は加入不可	社会保険	強制加入		
少ない	税務調査	多い		
事業•運営				
屋号	名称	商号		
不要(自由)	機関設計	必要		
低い	社会的信用	高い		
不利	採用	有利		
無限責任	責任	出資額を限度とした有限責任(連帯保証するケースは多い)		
不可(事業承継を除く)	事業主(代表者)の変更	可能		
不利(個人の信用力が上限)	資金調達	有利		

起業の際に検討する5つの法人

構成員への利益配分を目的とした法人

- ・構成員の経済的利益を追求し、団体が得た利益を構成員が分配。
- 設立後、変更可。



株式会社

- ・株式を発行し、株主が役員を選任して事業を行う。
- ・社会的知名度が高い。
- · 役員仟期 2 ~ 10 年。
- ・決算時に決算公告の義務がある。

設立費用	書類作成期間	登記
定款認証 5万		
+ 印紙 4万	約2週間	1~2 週間
⊥ 登稳色连锁15万		



- ・「出資者」=「役員」
- ・ランニングコストが低く、意思決定に時間がかからない。
- ・出資の割合に関係なく、定款によって利益などの配分の 仕方を自由に設定することができる。
- ・役員任期なし

・少人数での起業に向いている 		
設立費用	書類作成期間	登記
印紙 4 万 + 登録免許税 6 万	1~3日	1~2 週間

※合資会社と合名会社は、合同会社という会社形態が誕生した今となっては、あえて設立する人は少ない。

構成員への利益配分を目的としない法人

- ・企業活動であげた利益は、構成員に分配せず、すべて団体の活動目的を達成するために使われる。
- ・公益性の強さや、営利活動ができないかわりとして、税制が優遇されるということがある。
- ・設立後の法人変更は不可。同形態法人同士の合併のみ認められる。

NPO法人

- 特定非営利活動法人。活動内容に制限がある。
- 「役員のうち、報酬を受ける者の数が、役員の総 数の3分の1である」などの要件を満たす必要が
- ・法律に定められた書類を添付した申請書を所轄庁 に提出し、設立の「認証」を受けることが必要。
- 設立人数 10 人以上。
- 資本金、登録免許税、定款認証手数料などの費 用がかからない。
- ・補助金や支援プログラムなどが充実している。

設立費用	書類作成期間	登記
数千円~	3~4週間 ※その後の審査期間に 約4ヶ月	1~2週間

·般社団法人

- ・設立にかかる時間が少なく、比較的容易に設 立できる。
- ・設立人数 2 人以上。
- ・活動が制限されない為、様々な目的で設立で
- ・社会や特定の地域全体の発展に貢献できる業 種・業態が多いのが特徴。(芸術の振興や教 育、観光業の振興、福祉・医療学会、資格 認定ビジネス等)

	事粘 烷 武物 明	ZX=7
設立費用	書類作成期間	登記
定款認証 5万+登録免許税 6万	1~2 週間	1~2 週

般財団法人

- ・寄付された「財産」をもとに活動する法人。
- ・財産の合計、300万円以上が必要。
- ・財産の拠出者は必ずしも財団設立後の運営には 関与しなくてもよい。
- 美術館、慈善活動に関わる事業が有名。

設立費用 書類作成期間 登記 定款認証5万 約2週間 1~2 週間 + 登録免許税 6万 +300 万円以上の財産

※社団法人・財団法人は、公益認定を受けると公益社団法人・公益財団法人になり、社会的信用、税制面優遇も高くなります。

プロ投資家による「VC相談DAY」始めました

会社設立における資金調達に悩んだら、毎週火・金曜日の個別相談へ! 株式を使った資金調達は、自社の方針決定に直接影響を及ぼすことができる権利を、第三者に渡すことを意味します。 将来のことを見据えて、誰に、いつ、どの程度の株式を渡すかを計画的に行うことが非常に重要です。



プロ投資家への個別相談は予約制です。 ご利用希望の方は、気軽に福岡市スタートアップカフェまで

※電話での相談は受け付けていません。

こんな悩みをお持ちの方は、ぜひお越しください。

「共同創業者と、それぞれ出資をして会社を設立したい」 「ベンチャーキャピタルからの資金調達を日指すような事業計画を作りたい」 「具体的な増資に向けた議論ができるようになりたい」 「お金を出してくれるという人がいる」

「従業員や協力者から、株・ストックオプションを求められた」 「投資家から、投資をしたいとオファーを受けた」

「資本政策を考えたい」

「ベンチャー投資家とどう交渉するのが良いか相談したい」